

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千里丘駅前プロジェクト	階数	地上10F
建設地	大阪府摂津市千里丘東2丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	2人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,840 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年12月4日
敷地面積	566 m <sup>2</sup>	作成者	百合 伸仁
建築面積	309 m <sup>2</sup>	確認日	2018年12月5日
延床面積	2,129 m <sup>2</sup>	確認者	百合 伸仁

本評価はCASBEE「評価結果」を  
取得した時点でのご利用、複製等を  
禁じます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建物形状や色彩等に配慮して周辺環境に合致したデザインにしています。		<b>その他</b> 工事中における廃棄物削減、リサイクルについては可能な範囲で配慮します。市指導基準に基づき緑化の推進に努めます。市条例に基づき色彩等に配慮します。
<b>Q1 室内環境</b> 建物全面的にF☆☆☆☆を採用し空気室環境の向上に配慮します。外部に面する建具についてはT-2を計画し遮音対策にも配慮します。	<b>Q2 サービス性能</b> 建物における耐用年数の確保に配慮します。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 環境・周辺への配慮は対応が難しいが出来る限りの配慮をします。
<b>LR1 エネルギー</b> 省エネ基準をできる限り満たし、環境負荷低減をしよう配慮します。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水設備の使用に配慮します。	<b>LR3 敷地外環境</b> 緑地を可能な範囲で行い敷地外への熱的な影響を低減しよう配慮します。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0118

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)千里丘駅前プロジェクト					
	建設地	摂津市千里丘東2丁目102番2の一部					
	用途/区分	集合住宅 物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

対象外

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.3	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	特になし	